

男騎士が

「くっ殺せ！」

いと言ふあり

故珍子

又調教

としてみた

成年
コミック

最終話

DLサイト
限定版

 Black Cherry

Presented by
Kochinko



ズキョウグー

うわーッ!!

ひ姫に
なんてことを...

これが一番
早く魔力を
吸い出せるん
ですよ

貴方にも
何度も
行ってますが

わ私は
なにを...

た確か
騎士様と
セツ...

あれっ!?
私の
服は...!?

姫!
あの従者に
ついて
ご説明を...

でも姫サマが
着飾って来る
ってんじや

俺が
抱いてやるしか
ねーよなあ?

少しお待ち
ください!
着替えを...!

団長!

もう我慢
できない!

やれやれ
めっちゃめっちゃ
じゃねーか

ユーナ
様

わー!!

お頭
ブルーイ!

俺も
俺も
俺も~!



お待たせ
しました！

姫…

いえ殿下！

なんと
凛々しい
お姿…！

ス>>…

これを鬼族の
皆様へ…

私が今
集められたのは
これだけで
少ないですが…

なんだ？

…カネか？

あと金目の
モン…？

賠償
です

これまでの我が
ペアシユ国の非礼を
お詫び致したく…

……



ふざけるな!!

そもそも
てめえらが
俺たちに
なにも売らねえん
だろうが!

鬼^{ひと}をおちよくるのも
大概にしやがれ

我々と
交易を行う
ということ
ですか…?



…てめえ
ナメてん
のか?

俺たちに
カネだと…?

それはとりあえず
お気持ちというか…

好きにお使い
いただければと…



おいガキが
なんの権限が
あって
ンなこと
言ってるんだ?

それに
「鬼退治」は?
今の王が死んだら
またやるんだろ?

行い
ません

だから
なんで
断言してん
だよ



はい!

しばらくは
道路などの
交易行路を整備し
生活必要物資を
支援します

ゆくゆくは対等な
貨幣交易をしたいと
考えています

私が次の
ペアシュ国王
だからです

このお方は
第一王位継承者
プレソ王太子殿下で
あらせられます…！

Princo de Peach
Poreco Duragulo Peach

殿下…！

おい
どうした
宰相

次期
国王陛下に
数々の非礼を…

うわ
ダセエ！

そーいう
奴隷根性だから
つけ入られて
きたんだろーが

いいか？
俺が望むのは
交易だけ
じゃねーぞ

「独立」だ！

魔石の
貿易権を
返せ

俺たちを
「国」として
独立させろ！

私も
それが最善だと
思います

私の代では
難しいかも
しれませんが…

そうなるよう
力を尽くすと
お約束します

マジ
かよ…

さすがに
信じられねえ…

てめえの理想は
わかったが
あとになって
撤回されるのは
御免だぜ

なんせこっちは
2回も偽の姫を
掴まされてるん
だからな

2回目は
まじだったか！

…おっしやる
通りです

人質…いえ
大使を
送るべき
ですよ…

ではやはり
ロゾ殿には
永遠にここに
いてもらうと
いうことで…

待て
待て！

いや事情は
わかるけど
…！

あの…！





…あまりにも
こちらに都合が
良すぎる

ペアシユ国は
我々と魔石を
支配することで
強大な力を
得ていたはず

そちらの
利益が
わかりません

ペアシユ国
そのものが
崩壊寸前
だからです

えっ…!?



貴族は魔石や
その利権を奪い合い
いつ内乱が起こっても
おかしくない状況です

父の「鬼退治」は
一時的にそれを
抑えましたが
根本の解決には
なっていません

そもそも本来
魔石は独占される
べきものではなく
広く共有される
べきもの…

魔石の明かりは
病人の施設で
魔石の炎は
民の台所で使われる
べきです

現状の魔石は
「権力の象徴」
ですが

市場で正当な価格で
取引されれば
現状を打開できると
考えています



それで
我々と
貨幣による
交易を…

それに力による
王政の寿命は
おおよそ300年…

私が
最後の王かも
しれません

ですが戦乱によって
「滅亡」するのではなく

それぞれが
志を持って独立する
「解体」であって
ほしいのです







…私ばかり
好きって
言ってる…

…騎士様も
「愛してる」って
おっしゃって
ましたよね

あれは…

…俺のような平民が
殿下に言っている
言葉ではありません
でした…

騎士様がちゃんと
認めてくだされば
恋人になれるのに…

ここぞ恋人
だなんて！

おこがましい
にもほどが…

もうっ…

あうっ…♡

悪いと思うなら
愛してるって
言ってください♡

そんな…

俺だって
殿下のこと…
でも…

はあ…

はあ

うっ…
殿下の指が…
乳首とちんこ
ぬるぬるして…
腰が
溶けそう…！

こんなに他人に
開発されて…っ

すみません
…あ…

まだ鬼族の方々に
されてないことって
あります？

…あります…
けど…

教えて
ください



ちゃんと
しゃぶられた
ことが
ないなんて…

良かった…
「初めて」が
まだあって

あつ…！

ややつぱり
その
不浄…
というか…



あつ…

は…

くっくっ
くっくっ
くっくっ

は…



だ
だめっ！

すっすっ
すっすっ
すっすっ

あ…

くっくっ
くっくっ
くっくっ

くっくっ
くっくっ
くっくっ

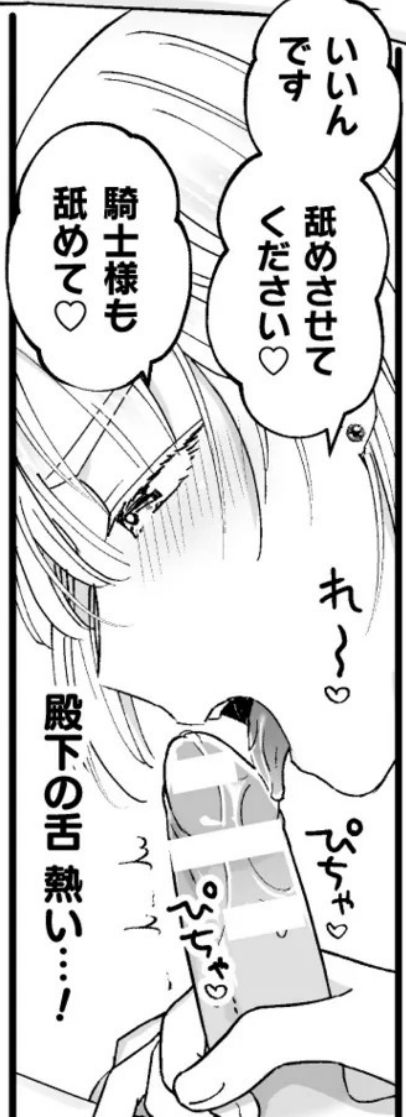
そんなに
吸ったら…！



ぬるぬるに
包まれて…♡

もが

舌が
動き回って…
気持ちいい…♡



いいん
です
舐めさせて
ください♡

れ…

騎士様も
舐めて♡

殿下の舌熱い…！



ううっ…

ぐっ…

だめです
殿下…!

ぐっ…
きゅん…



もう放して
ください…!

口で
出ちやい
ます…!

あ…

はぁ



あッ!

あッ!

はぁ

あッ!

きゅん

きゅん

きゅん



…え!?
飲んだん
ですか!?

はい♡
騎士様の
初口内発射
いただき
ました♡

あーん

はぁ

そんな…!



殿下のお口を
汚してしまう
なんて…

…騎士様って
もしかして
童貞ですか?

えっ?!

ギョ





騎士様に私の
愛をたくさん
注いであげます♡

やっぱり
他と全然
違う…!♡

殿下のが
入っただけで
嬉しくて全身が
悦んでる…♡

騎士様の
イイところ
覚えました

ここ
でしょ?

あッ! ふあふあ♡

あはっ♡
潮吹き♡

ほら
気持ちいい
証拠です♡

へ…
しお…?
初めて
でした?
おしっこ
みたいの
出ましたよ

えっ…!

ここ
押すみたいに
ずぼずぼ…♡

ひめっ♡

あッ! あッ!♡



私の好きに
していいなら
帰ったら騎士様を
飼います！

えっ!?

誰も知らない
部屋に
閉じ込めて…

白くていやらしい
下着だけで過ごして
いただきます♡

私のペットとして
朝から晩まで
上と下のお口で
私のペニスを
くわえるんです♡

うず♡
うず♡

ふり♡
ふり♡

体中に
精液を注いで
真っ白にして…

たくさん
愛して
あげます♡

やつ…♡

恋人に
ならないなら
そうするしか
ありません！

ダメです！
騎士様は
私専用
オナホです！

そんな
無茶な…
俺は
騎士団の
仕事に
戻らないと…

くちゅ♡
くちゅ♡

ぬゅ♡
ぬゅ♡

殿下…
お許し
ください…

女々々♡♡♡

殿下♥

好きです♡
愛してます

愛してますっ♡♡

あつ…♡
搾られるっ…♡

搾られるっ…♡

女

せーえきん
きんもちい

キモセー

殿下と

セックスして♡

精液注いで
もらって♡

もちって♡

騎士様
大好き

大好き♡

で
て
や
っ
っ
っ
っ
っ
っ

うれしい♡
きもちいい…っ♡

だ、きもちいい……♡

きもち
いいっ…♡♡

い
い
っ
…
♡
♡









またな

お気を
つけて

ええ
良い関係を
築きましょう

元気
でな



成人するまで
あまり大きく
動けません
定期的に連絡を
差し上げますね



…国王陛下の
ご容体は…?

落ち着いては
いるようです

病気自体は
治って
いませんが…

…帰ったら
やることが
山積みですね

ふもとまで
一刻ほど
だそうです
どうぞお休み
ください

そうですね…
昨晩は淫紋が
疼いてしかたが
なかったです…

淫紋は鬼ヶ山を
離れればそのうち
消えるそうですよ



光栄です

けど…



淫紋が
消えるまで…

…消えてもずっと
私のお相手を
していただけますか?



殿下！

キヤッ

俺が優しいの
だとしたら
それは殿下の
たまもの
賜物です

殿下は
いつだって中立で
よく考えて
意見をくださって…

俺は殿下を
人として
尊敬しています！

俺は鬼の国でも
いつだって
殿下のことを
考えていました

少しでも殿下の
お役に立てる
ことはないか

それぞれが
大事にしていることは
なんなのか…

殿下のように
物事をよく見て
自分で考えたいと
思ったから…！

だから
俺を作ったのは
殿下です

殿下は…

あなたは
俺の
すべてです！

.....

騎士様は...

てつきり
職務のみで
私に従って
いるのかと...

そんなわけ
ありません

俺は公私ともに
一生殿下専用の
つもりですよ

ゴト

.....

それなら...

ゴト



…愛して
います

私人としての
あなたのお気持ちを
お聞かせ
いただけますか？

ロゾ

プレソさま

The End

La fino de la vero

鬼堕ちIF
～宰相&ユーナ
取り合いルート～









私が満足するまで
つきあいなさい

はぁ

ぐわ

ひゅっ...

ぐわ



はぁ

駄目です



うっ
あぁっ!

はぁ

ぐわ
そこ
やだっ

やめて

あ...

ぐわ

ぐわ

ぐわ



では
ユーナ様より
イかせて
あげなくては

やめろって
言ってん
だろっ!!



私の方が
いいでしょう?
ね? ロソ

どっちでも
いいからもう
やめてくれ...

おまえら
すぐ
争って...

これじゃ
俺の身が
持たな...

あ...

ふふ
そうですね

The End



ブラックチェリーコミックス

男騎士が「くっ、殺せ！」って 言うからメス調教してみた

最終話【DLサイト限定版】

漫画●故珍子

装丁●マイクロハウス

発行●株式会社キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル

編集部 TEL03-3551-6147 / FAX03-3551-6146

販売部 TEL03-3555-3431 / FAX03-3551-1208

© 故珍子 2020

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。

本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

本作品のご意見、ご感想をお待ちしております

本作品のご意見、ご感想、読んでみたいお話、シチュエーションなど、どしどし
お書きください！ 読者の皆様の声を参考にさせていただきたいと思います。
手紙・ハガキの場合は裏面に作品タイトルを明記の上、お寄せください。

アンケートフォーム

<http://ktcom.jp/goiken/>

手紙・ハガキ・メールの宛先

〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル

(株)キルタイムコミュニケーション

ブラックチェリーコミックス感想係

メールアドレス blackcherry@ktcom.jp





Illustration by 故珍子

「男騎士が「くっ、殺せ！」っていうからメス調教してみた」

©故珍子